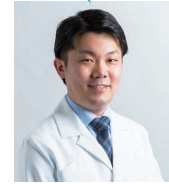


意外と知らない歯の健康知識

インプラント治療の前に やるべきこと 「術前矯正のススメ」

失った歯を補うインプラント治療は長所ばかりが強調されている傾向がありますが、本当に最適な治療法なのでしょうか。インプラント治療の成果を最大限にし、長期間安定するために必要なことはなんなのか、植田先生にお聞きしました。

この先生に聞きました!



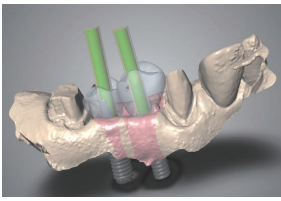
医療法人UDC理事長・
歯科医師
植田 憲太郎先生
大阪大学歯学部卒業。大阪市内の
歯科医院で勤務後、うえだ歯科クリ
ニックを設立し医療法人UDC理事
長に就任。2019年5月に大阪淀屋
橋にHANAIIntelligence歯科・矯正
歯科を開院。

インプラントと 矯正治療 メーカーの提携

世界で700万人の歯並びを治療してきたマウスピース矯正インビザラインを生み出したアラインテクノロジー社が、インプラントメーカーのジンマー社と提携。世界のシェアを誇るインプラントメーカーであるストローム社も、マウスピース矯正メーカーを買収。近年、このようなインプラントメーカーと矯正メーカーの業務提携や合併が目立つようになってきましたが、これ

インプラント治療で 全ての解決、とは いかない理由

1 本歯を失った場合、インプラントで歯を新しく作ることはベストな治療法か? という問いには、半分正解で半分間違っていると答えます。両隣の歯を削らないインプラント治療は、ブリッジや義歯に比べて優秀かもしれませんが、「なぜその歯を抜かないといけないのか」ということを考えなくてはなりません。もし失った歯が虫歯になりそうな磨きにくい位置だった場合、そこと同じような歯をつくると、インプラントの歯も磨きにくい状態に。噛み合う相手の歯が飛び出していたがために、歯に負担がかかり折れて抜歯になってしまった場合は、同じ条件でインプラントの歯をつくると同様に大きな負担がかかります。インプラントの損傷は人工物なのでやり直せばいいだけかもしれませんが、最悪インプラントと噛み合う相手の歯が負担でダメになってしまうことも。そのため、周りの歯や噛み合う相手の歯の矯正を先にを行った上で、正しい位置に正しい形でインプラ



コンピュータでインプラント上部構造をデザイン。当院はAIと光学スキャナーで、従来よりも精密で、通院回数や治療時間を減らせる治療が可能になります。

治療の流れ

- ① 診査・診断 ▶
- ② 治療の最終目標をコンピュータシミュレーション ▶
- ③ 術前矯正 ▶
- ④ インプラント手術 ▶
- ⑤ 被せ物装着

トを作った方が良いでしょう。矯正とインプラント治療の両方を高いレベルで行うことができるクリニックの方が、インプラント治療が長期間安定する、ということを知って欲しいです。

HANA Intelligence

歯科・矯正歯科

大阪市中央区伏見町4-2-14
WAKITA
藤村御堂ビルB1F
営/火曜～土曜 9時～17時



06-6210-4816

<https://www.hana-intelligence.com/>



淀屋橋駅13番出口より徒歩1分
本町駅2番出口より徒歩5分

特典

「シティライフを見た」で
デンタルエステ専門の
歯科衛生士が施術
●初回カウンセリング込み
オフィスホワイトニング
…30,000円→10,000円
(要予約・4月末まで)